

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
34108	図書館制度・経営論 Introduction to Library Administration and Management	江良友子	✓	専門	2	選択	1、2後期

科目の概要

公立図書館の管理・運営にかかわる法律、政策、行財政制度を概説し、図書館運営・活動計画の策定と管理運営のあり方、図書館職員をめぐる現況と課題等について解説する。公立図書館の経営の実態例を紹介しながら、図書館が抱える課題について学修する（これまで学んできた図書館についての基本的な知識を活用して図書館経営に応用することを学ぶ）。

★教員の図書館司書として勤務した経験を活かして、実際の現場に照らして授業を進める。様々な図書館の事例から、図書館界が抱える問題を伝え、それらを解決するために行なわれてきた方策を示すことで、学生が図書館について理解を深め、現実的に捉えられるような講義内容とする。

学修内容	到達目標
① 図書館法を知る。 ② 図書館関連領域の法規について知る。 ③ 図書館政策について理解する。 ④ 図書館経営の理論と実際について理解する。 ⑤ 現代の図書館が抱える様々な課題について知る。	① 図書館法の内容を説明することができる。 ② 図書館関連法を挙げることができる。 ③ 図書館政策を説明することができる。 ④ 図書館経営の要素を説明することができる。 ⑤ 現代の図書館が抱えている課題を自分なりに批判することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	図書館経営を理解するために、図書館に足を運ぶことができる。
	働きかけ力	
	実行力	図書館で積極的に資料を借りることができる。
考え抜く力	課題発見力	毎日、新聞に目を通し社会の流れを把握することができる。
	計画力	
	創造力	自分が理想的だと感じる図書館像を描くことができる。
チームで働く力	発信力	聞き手にとってわかりやすい発表をすることができる。
	傾聴力	メモを取る、相槌をうつなどして人の話を聞くことができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	遅刻・無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：「図書館情報学基礎資料」 2019年 今まど子・小山憲司 編著、樹村房 1,100円（税込）
 講義用レジュメおよび追加資料を配付する。
 必要に応じて教材として視聴覚資料を使用する。
 参考文献：授業の中で紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：図書館に関する科目全て 特に、図書館概論と図書館サービス論
 資格との関連：図書館司書

学修上の助言	受講生とのルール
前期開講の「図書館概論」と「図書館サービス論」の授業を受けていないと、理解することが難しい授業内容が含まれる。未履修の場合は、事前に相談に来ること。 他の図書館に関する科目を履修し、図書館をよく利用していると、この科目の内容を理解しやすい。 法律など難しい文章を読み、理解する必要があるため、そのつもりで取り組むこと。	6回以上の欠席は0（放棄）判定となる。 欠席した場合は、次回授業日前までに欠席分の配布資料を取りに来ること。 欠席した場合でも課題提出は必須である。必ず指定された期限までに提出すること。期日に遅れた場合は受け取らない。 提出する課題は、次回授業日に集め、返却しない。必ずコピーをとっておくこと。 授業の中で新聞社（名古屋市内）見学を予定しているが、往復の交通費は自己負担とする。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	0	①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	75	①	✓		レポート①：見学した公立図書館について（サービス）（25点） レポート②：見学した公立図書館について（図書館施設・設備）（25点） レポート③：図書館と新聞：新聞社見学から学んだこと（25点）
				②	✓		評価のポイント ・表記・表現等）各2点 ・字数制限が守られている。 ・誤字脱字がなく、正しい文章表現を用いている。
				③	✓		・段落ははじめの1字下げなど基本的なルールとレポートの基本書式を守っている ・口語やくだけた表現をしていない。「です・ます調」ではなく、「だ・である調」を用いている。 ・情報源は信頼のおける適切なものを使用している。引用・参考文献を記載できている。
				④	✓		（内容）各5点 ・テーマに合致した内容となっている。 ・意味の通らない文章がなく、論旨が明快である。
				⑤	✓		・内容に説得力があり、読み手を納得させられる内容である。 ・根拠（これまで学んできた基礎知識）をもとに、自分の考えを述べている（知識の活用）。 ・得た知識を基に課題解決に向けての考え・道筋が明確に示されている（知識の応用）。
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	15	①	✓		発表評価のポイント レポート①について		
		②	✓		作成したレポートを見ないで発表することができる。（5点）		
		③	✓		板書するなど聞き手に伝えるための工夫がされている。（5点）		
		④	✓		わかりやすくまとめられ、感想と共に発表できている。（5点）		
		⑤	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		（主体性） ・公共図書館、大学図書館に足を運ぶことができている。	
			②	✓		（実行力） ・大学図書館で本を借りている（読書カードを利用し、5冊以上達成）。	
			③	✓		（課題発見力） ・毎日、新聞を読んでおり、授業の中で指名された時に対応できる。	
			④	✓		（創造力） ・読み手に取ってわかりやすいレポート作成ができている。	
			⑤	✓		（発信力） ・見学した図書館の魅力や問題点をわかりやすく発表できる。 （傾聴力） ・他の人の発表を聞き、感想や疑問点を言うことができる。 （規律性） ・遅刻・無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀) 評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価のポイントに基づいて3回のレポート評価の総計が67点以上である。 ・成果発表の総計が13点以上である。 ・社会人基礎力にある学修態度が9割以上達成できている。 <p>A (優) 評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価のポイントに基づいて3回のレポート評価の総計が60点以上である。 ・成果発表の総計が12点以上である。 ・社会人基礎力にある学修態度が8割以上達成できている。 	<p>B (良) 評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価のポイントに基づいて3回のレポート評価の総計が52点以上である。 ・成果発表の総計が10点以上である。 ・社会人基礎力にある学修態度が7割以上達成できている。 <p>C (可) 評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価のポイントに基づいて3回のレポート評価の総計が45点以上である。 ・成果発表の総計が9点以上である。 ・社会人基礎力にある学修態度が6割以上達成できている。 <p>或いは、達成には至らないが努力できている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 図書館制度・経営論を学習する意義について学ぶ。 (基礎知識の獲得・活用)	講義 質疑応答	図書館制度・経営論を学ぶ意義を理解して、以後の授業に臨むことができる。	(復習) 図書館制度・経営論を学ぶ意義を200~300字程度でノートにまとめる。 (課題) 「公共図書館へ行き、図書館サービスについてレポート作成する」(文字数1500字以上)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
2	図書館に関する法律・法規① 図書館に関する法律について学ぶ。 (基礎知識の獲得)	講義 質疑応答 「imakiku」を利用して双方向型授業	日本の法体系の中の図書館法の位置付けを知ることができる。	(復習) 日本国憲法・教育基本法・社会教育法を読み、図書館に関する部分にアンダーラインを引く。 (予習) 図書館法を読み、わからない言葉の読みと意味を辞書で調べる。教科書p15-17	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
3	図書館法 図書館法とその精神について学ぶ。 図書館奉仕にちて学ぶ。 (基礎知識の獲得)	講義 質疑応答 「imakiku」を利用し双方向型授業	図書館法を通読することができる。	(復習) 図書館法を読み(教科書p15-17)、図書館奉仕に書かれている業務内容を実際の図書館サービスに照らしてノートにまとめる。 (予習) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律教科書p53-54、生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律p55-57、子どもの読書活動推進に関する法律p33-34、文字・活字文化振興法35-36に目を通し、わからない言葉の読みと意味を辞書で調べる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
4	図書館に関する法律・法規② 図書館に関する法規について学ぶ。 (基礎知識の獲得)	講義 質疑応答 「imakiku」を利用し双方向型授業 レポート提出	図書館法以外の図書館に関する法律を知ることができる。	(復習) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律教科書p55-56、生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律p57-579、子どもの読書活動推進に関する法律p34-35、文字・活字文化振興法p36-37を読む (予習) 図書館サービスについて、3分で発表できるように準備をする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
5	レポート発表(プレゼンテーション) (基礎知識の活用・応用) コメント記入	公共図書館サービスについてのレポートを基にプレゼンテーションを行う。 質問・感想を述べる(全員)。 レポートについてフィードバック	他の人の発表を批判的に聞き、意見を述べる ことができる。	(復習) 他の人から出た意見を踏まえ、自分のレポートを見直す(600字程度にノートにまとめる)。 (予習) 図書館の自由に関する宣言を読み、わからない言葉の読みと意味を辞書で調べる。教科書p74-76	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	図書館の自由 図書館の自由に関する宣言を読む。 (基礎知識の獲得)	講義 質疑応答 「imakiku」を利用し双方向型授業	図書館の自由に関する各種事例を知ることができる。	(復習) 図書館の自由に関する宣言に関する事例を3件探す。 (予習) 5年以内に開館した公共図書館の図書館政策を調べる。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
7	図書館政策(国と地方) 図書館に関する政策について学ぶ。 (基礎知識の獲得)	講義 質疑応答 「imakiku」を利用し双方向型授業	国と地方による図書館政策にはどのようなものがあるか知ることができる。	(復習) オーテピア高知図書館(高知県立図書館と高知市立図書館)のサービスについての意見をノートに書く(600字以内)。 (予習) ランガナタンの五法則を読み、わからない言葉の読みと意味を辞書で調べる。教科書p73	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
8	図書館業務の理論と実際 図書館業務の内容について学ぶ。 (基礎知識の獲得・活用)	講義 質疑応答 「imakiku」を利用し双方向型授業	図書館業務の種類を知り、それぞれの内容を書くことができる。	(復習) ランガナタンの五法則を読み、法則を1つ選択して、その法則を図書館で実践するためにはどのようなことが必要かノートにまとめる。 (予習) 新聞を読み、紙面構成について疑問に思うことをノートに書き出す。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	図書館と出版流通 新聞社の出版・流通について学ぶ。 (基礎知識の獲得) (見学の引率) 担当教員指導内容 見学先担当者とともに、事前に依頼した見学内容について、これまで授業で学んだことを現場で確かめ、確認する。 学生に質問事項を促す。	新聞社見学	図書館資料としての新聞、作成元の新聞社を知り、マスコミと情報について理解を深めることができる。	(課題) 「図書館と新聞：新聞社見学から学んだこと」(文字数1500字～上限なし) (予習) 図書館で働く職員の種類(職階、採用による違い、業務による違いなど様々な切り口で考える)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
10	図書館組織 ① 館長・司書の役割 (基礎知識の獲得)	講義 質疑応答 「imakiku」を利用し 双方向型授業	館長と司書の役割を理解できている。	(復習) 館長と司書のそれぞれの役割についてノートにまとめる。 (予習) 指定管理とPFIについて調べ、発表できるようにノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
11	図書館組織 ② 経営と雇用の多様化 (基礎知識の獲得・活用)	講義 質疑応答 「imakiku」を利用し 双方向型授業	図書館経営の問題点を考え、指摘することができる。	(復習) 図書館経営を行う上での問題点や課題についてノートに書き出す。 (予習) 図書館へ行き、図書館施設と設備にはどのようなものがあるかノートに図を描く。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
12	図書館施設・設備 図書館施設・設備について 実際の図書館建築から学ぶ。 (基礎知識の獲得)	講義 質疑応答 「imakiku」を利用し 双方向型授業 レポート(新聞)について提出	図書館施設・設備・家具にはどのようなものがあるか知ることができる。	(復習) 図書館施設・設備・家具にはどのようなものがあるかノートにまとめる。 (予習) 図書館利用アンケートをHPで公開している図書館を調べ、アンケート内容をノートに書き出す。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
13	図書館評価について 図書館業務・サービスの調査と評価について学ぶ。 (基礎知識の獲得・活用・応用)	講義 質疑応答 「imakiku」を利用し 双方向型授業 レポート(新聞)についてフィードバック	図書館経営・サービスの評価に関する方法と考え方を理解できている。	(復習) 図書館評価の方法とその特徴をノートにまとめる。 (課題) 「公共図書館へ行き、図書館施設・設備についてレポート作成する」(文字数1500字以上、図面付き)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
14	図書館を支える力 (協議会・ボランティア等図書館関係団体) 図書館関係団体について学ぶ。 (基礎知識の獲得)	講義 質疑応答 「imakiku」を利用し 双方向型授業 「公共図書館へ行き、図書館施設・設備について」レポート提出	様々な図書館に関する団体を知ることができる。	(復習) 各図書館関係団体の特徴をノートに書く。 (予習) 図書館で発生する可能性がある自然災害と人的事故をあげ、どのような対応策があるかノートに書く。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
15	図書館と危機管理 図書館経営の現状と課題について考える。 (基礎知識の獲得・活用・応用)	講義 質疑応答 「imakiku」を利用し 双方向型授業 レポート(新聞)についてフィードバック 「公共図書館へ行き、図書館施設・設備について」レポートフィードバック	図書館で発生する危険な事例と対処方法を知ることができる。	(復習) 危機管理に必要なことをまとめる(600字程度)。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力